

令和4年度 事業報告

令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大が依然として続く一方で、マスク着用などの感染対策や法律上の位置づけについての変更が示されるなど、新たな段階に向けての兆しも見られた1年となりました。コロナ禍において社会的孤立や経済的困窮などの生活・福祉課題が深刻化する中で、地域住民の日常生活を支える共同募金の役割発揮に向けて、「ひょうご共同募金運動推進 2025年計画」(2021～2025)に基づき、県内各地で多様な取り組みが進められました。

特に、令和4年度は募金実績の回復に向けた広報・啓発活動に積極的に取り組みました。本会では10月の運動開始にあたり、3年ぶりにキックオフイベントを開催して、全県的な啓発を行いました。また、県内の約9割の地区で街頭募金を実施され、6カ所のモデル地区を中心に意欲的な活動が新たに取り組まれるなど、多くの住民が赤い羽根共同募金に触れる機会づくりに努めました。

しかしながら、令和4年度の共同募金運動の募金実績は、一般募金が448,703,661円(達成率91.9%)、地域歳末たすけあい募金が121,530,512円(達成率95.2%)、NHK歳末たすけあい募金16,481,668円(達成率91.6%)と、いずれも前年度と比較して減少する結果となりました。募金文化の醸成に向けて、これからの運動のあり方そのものについての議論を進めていく必要があります。

令和3年度に集まった募金は、県内の社会福祉協議会、社会福祉施設、社会福祉関係団体及び県域・広域で活動を行う社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO等の事業費として配分し、地域福祉の推進に役立てるとともに、将来の大規模災害に備えた準備金として積み立てを行いました。「つながりをたやさない社会づくり」をテーマに令和2年度より実施している「いのちをつなぐ支援活動応援事業」では、県内で総額359万円の助成を行いました。

兵庫県共同募金会としては、「じぶんの町を良くするしくみ」としての共同募金運動を今後も積極的に推進していくとともに、地域課題の解決に向けた配分事業の「見える化」を模索し続けながら、社会福祉協議会とともに地域福祉活動への協力者・参加者を増やしていくことを目指していきます。

1. 共同募金運動の積極的展開

「ひょうご共同募金運動推進 2025 年計画」に基づき中期的な視野に立った強化方針に沿って、課題解決に向けた取組みを推進しました。また、地域福祉財源の十分な確保ができるよう、地域の特性に応じた多様な募金方法により多くの協力者の参加促進を図り、配分については、配分委員会で慎重に審議し、配分計画の策定及び配分を実施しました。

(1) 「ひょうご共同募金運動推進 2025 年計画」の普及と推進

- ① 共同募金運動強化推進モデル地区事業 モデル地区指定数 6 地区
神戸市中央区共同募金委員会 「オリジナル募金グッズの制作」
宝塚市共同募金委員会 「啓発イベント『あかはねフェスタ』の開催」
丹波篠山市共同募金委員会 「デジタル掲示板の設置」
加東市共同募金委員会 「『あかはねスイーツ』の販売」
たつの市共同募金委員会 「子育てイベント『ニコニコマルシェ』の実施」
上郡町共同募金委員会 「赤い羽根ご優待クーポンの作成」
- ② 共同募金委員会現況調査 実施時期 2月～3月
- ③ 共同募金運動強化推進の事例収集・共有

(2) 共同募金運動の推進

- ① 受配要望のとりまとめ
＜要望数・金額＞

社会福祉施設	19 施設	20,290,000 円
県社協		6,460,000 円
49 市区町社協		381,875,360 円
- ② 兵庫県社会福祉協議会による社会福祉法第 119 条に基づく意見書の受理
- ③ 配分計画の立案
＜一般募金＞

(広域配分)		
社会福祉施設		12,900,000 円
社会福祉団体、更生保護団体、ボランティア団体・NPO等		2,000,000 円
県社協		6,460,000 円
(災害等準備金積立金)		
災害準備金		18,982,000 円
(本部・共同募金委員会活動費)		
本部・共同募金委員会活動費		65,880,640 円
(地域配分)		
地区福祉事業費		381,875,360 円

	合 計	488,098,000 円
④ 募金部会		7月15日 35名
令和4年度共同募金目標額		
<一般募金>		
広域目標額	92,338,000 円	
地域目標額	392,910,000 円	
期間拡大目標額	2,870,000 円	(実施 20 地区)
合 計	488,118,000 円	
⑤ 共同募金運動の実施		
<一般募金>		
実績額	448,703,661 円	
目標額に対する達成率	91.9%	
⑥ 募金の配分 (令和5年度事業費)		
<一般募金>		
(広域配分)		
社会福祉施設	12,900,000 円	
社会福祉団体、更生保護団体、		
ボランティア団体・NPO等	2,000,000 円	
県社協	6,460,000 円	
いのちをつなぐ支援活動応援事業(令和5年度実施分)	3,870,000 円	
(災害等準備金積立金)		
災害準備金	17,435,000 円	
(本部・共同募金委員会活動費)		
本部活動費	41,747,364 円	
共同募金委員会活動費	21,221,330 円	
その他	1,471,678 円	
(地域配分)		
地区福祉事業費	361,938,929 円	
	合 計	469,044,301 円

2. 配分金の有効活用と監査の実施

令和3年度分の一般募金について、県内の地域福祉の推進に向けて生活・福祉課題の解決を目指す活動に対する配分を行いました。また、令和4年度分の配分にあたり、配分委員会において審査及び協議を行うとともに、受配団体に対し事務説明等により配分金の適正な活用を求めました。

また、寄付者の信託に応えるため、受配団体の募金の活用状況や経理処理等につい

て監査部会による監査を実施しました。

(1) 配分の実施

配分委員会の開催	7月22日	8名
	11月14日	8名
	12月6日	7名
	3月2日	9名
「社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO支援事業」の審査・決定		
	12件	1,990,000円

(2) 監査の実施

監査部会の開催	11月21日	4名
	3月8日	5名
受配団体監査	社会福祉協議会	3カ所

3. 広報・啓発活動の積極的推進

共同募金運動への理解を広げるため、各種広報・啓発資材を作成し活用を図るとともに、情報提供手段として広報誌の他、ホームページ、SNS、「赤い羽根データベースはねっと」等により、募金活動や配分事業に関する情報を公表しました。

また、マスコミや行政、関係団体、配分先団体を通じて啓発・広報に取り組むことにより、住民・寄付者への情報提供と募金活動への参加協力を積極的に呼びかけました。

さらに、幅広い世代へ向けたPRのため、オリジナル資材の作成をはじめ、マスコット「あかはねちゃん」の着ぐるみ・ぬいぐるみ・等身大パネル及びガチャガチャ機械の貸出等の活用を図りました。

(1) 広報啓発活動の実施協議、関係機関・団体との連携

広報部会	6月10日	9名、オブザーバー2名
	12月19日	9名
	2月27日	9名、オブザーバー1名
キックオフイベント	10月1日	
湊川商店街・東山商店街周辺（神戸市兵庫区）		
マスコミ、関係機関、受配団体等への広報・啓発の依頼		
受配先団体による配分事業を通じた広報強化		
「あかはねちゃんサポーター」の募集		

(2) 共同募金のスローガン、ロゴマーク、マスコット等の普及と活用

「赤い羽根ひょうごスローガン」の活用

共同募金ロゴマーク、キャッチフレーズの活用
マスコット「あかはねちゃん」によるPR活動
着ぐるみ 17件／等身大パネル 7件／ぬいぐるみ 8件
キッズあかはねちゃんの衣装作成
ガチャガチャ機械の貸し出し 1件
オリジナルバッジの作成と活用 16,800個
近畿統一記念バッジデザイン募集・審査・決定

(3) 多様な媒体による広報の実施

「赤い羽根シール」や兵庫県オリジナルポスターの作成
「共同募金News」の発行
広報・募金資材の作成、配布と活用
「赤い羽根データベース『はねっと』」の運用
ホームページ、SNSの運営
新聞広告、テレビ・ラジオスポット・大型ビジョンの活用

4. 募金の強化に向けた取組みの積極的展開

募金の強化に向けて、様々な方法による募金活動を実施しました。また、寄付者に対して感謝の意を表するため、共同募金運動に貢献があった個人・団体等へ、顕彰を行いました。

(1) 多様な募金活動の実施

法人・職域募金の推進
スーパー、ドラッグストア、ホームセンター、調剤薬局等への依頼
募金百貨店プロジェクトの推進
実施店舗総数 165 店舗／20 市区町・県本部
募金付自動販売機の設置促進
設置総数 63 台／25 市区町
期間拡大募金の実施
実施地区：8 区 10 市 2 町
テーマ型募金：4 区 2 市
園児・小中高生等への福祉学習活動の推進
インターネット募金の普及、活用
新たな募金手法（キャッシュレス決済を用いた募金等）の研究

(2) 寄付に対するお礼と顕彰事業の実施

顕彰審査委員会 7月11日 委員4名

会長表彰 個人 32 名、団体 17 団体、募金付き自販機設置団体 6 団体、
募金百貨店実施団体 6 団体
会長感謝 個人 241 名、団体 102 団体、募金付き自販機設置団体 9 団体、
募金百貨店実施団体 17 団体
篤志者 個人 43 名、団体 7 団体

5. 市区町共同募金委員会の支援と県共同募金会の運営

組織運営のため、理事会・評議員会等及び部会・委員会を開催しました。また、共同募金運動の推進機関である市区町共同募金委員会の組織強化を図るため、市区町共同募金委員会の組織整備を支援しました。

(1) 市区町共同募金委員会の支援

市区町共同募金委員会事務局長会議	8月30日	45名	(オンライン開催)
	2月24日	48名	(〃)
市区町共同募金委員会担当者会議	8月19日	46名	(オンライン開催)
	3月13日	48名	(〃)
市区町共同募金委員会新会計基準移行と会計システム導入・活用支援			システム導入49地区(累計)
共同募金事務費の交付	6月	12,431,000円、	8月 8,795,000円

(2) 理事会・評議員会・正副会長会議・監事監査等の開催

第252回理事会 (みなし決議) 議決日 5月12日

1. 退任に伴う副会長の選定について

第253回理事会 6月8日 理事11名、監事1名

1. 令和3年度共同募金最終実績及び配分結果について
2. 令和3年度事業報告について
3. 令和3年度決算について
4. 退任に伴う評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
5. 退任に伴う理事候補者の選定について
6. 顧問の委嘱について
7. 参与の委嘱について
8. 退任に伴う評議員選任・解任委員会委員の選任について
9. 定時評議員会(第209回評議員会)の招集について

第 254 回理事会 8 月 8 日 理事 10 名、監事 2 名

1. 令和 4 年度 共同募金目標額について
2. 令和 4 年度 共同募金配分大綱について
3. 令和 4 年度 共同募金運動実施要綱について
4. 退任に伴う評議員候補者の選定及び
評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
5. 退任に伴う理事候補者の選定について
6. 顧問の委嘱について
7. 第 210 回評議員会の招集について

第 255 回理事会 8 月 23 日 理事 9 名、監事 2 名

1. 退任に伴う副会長の選定について

第 256 回理事会 3 月 16 日 理事 10 名、監事 2 名

1. 令和 4 年度共同募金の結果及び配分について
2. 令和 4 年度補正予算について
3. 令和 5 年度事業計画について
4. 令和 5 年度予算について
5. 退任に伴う評議員候補者の選定及び
評議員選任・解任委員会への候補者の推薦について
6. 役員等賠償責任保険契約の締結について
7. 第 211 回評議員会の招集について

定時評議員会（第 209 回評議員会） 6 月 24 日 評議員 21 名

1. 令和 3 年度共同募金最終実績及び配分結果について
2. 令和 3 年度事業報告について
3. 令和 3 年度決算について
4. 退任に伴う理事の選任について

第 210 回評議員会 8 月 23 日 評議員 19 名

1. 令和 4 年度共同募金目標額について
2. 令和 4 年度共同募金配分大綱について
3. 令和 4 年度共同募金運動実施要綱について
4. 退任に伴う理事の選任について

第 211 回評議員会 3 月 27 日 評議員 21 名

1. 令和 4 年度共同募金の結果及び配分について

2. 令和4年度補正予算について
3. 令和5年度事業計画について
4. 令和5年度予算について

正副会長会議 4月11日、5月9日、7月11日、9月12日、
11月7日、12月5日、1月10日、2月13日、
3月6日

監事監査

定期会計監査	4月13日	1名	5月10日	1名
決算会計監査	5月20日	1名		
決算事業監査	5月20日	2名		
定期事業監査	11月29日	1名		

評議員選任・解任委員会	6月10日議決	選任 3名
	8月10日議決	選任 3名
	3月17日議決	選任 2名

6. 緊急災害に対する支援

「災害支援制度運営要綱」に基づき、国内の大規模災害時の活動資金支援として準備金の積み立てを行いました。

また、国内自然災害の発生による義援金の募集を、全国の都道府県共同募金会とともに広報周知を図りました。

(1) 災害等準備金の積立及び支援

①積立

令和4年度募金による積立額を17,435,000円としました。

②支援

災害支援制度運営要綱に基づく災害等準備金の拠出はありませんでした。

【収支状況】

〔収入〕	令和3年度末積立金額	53,868,000円
	令和4年度積立額	17,435,000円
	収入合計	71,303,000円
〔支出〕	令和元年度積立金取崩額	18,450,000円
	支出合計	18,450,000円
〔当期末資金残高〕		52,853,000円
	(内訳) 令和2年度	17,740,000円
	令和3年度	17,678,000円
	令和4年度	17,435,000円

(2) 県内で発生した災害への対応

①緊急配分資金による対応

・見舞金の交付

〔火災〕 神戸市兵庫区 140,000 円 (26 世帯)

【収支状況】

〔前期末資金残高〕 24,806,787 円

〔支出〕 140,000 円

〔当期末資金残高〕 24,666,787 円

(3) 県外で発生した災害への対応

県外で発生した災害の義援金・支援金募集について広報周知を図りました。また、義援金の領収書発行希望者への発行手続きを行いました。

※ () 内は募集期間

- (1) 中央共募「平成 30 年 7 月豪雨災害義援金」(H30/7/10~R4/6/30)
- (2) 岡山県「平成 30 年 7 月豪雨岡山県災害義援金」(H30/7/10~R4/6/30)
- (3) 広島県「平成 30 年 7 月広島県豪雨災害義援金」(H30/7/12~R4/6/30)
- (4) 愛媛県「愛媛県豪雨災害義援金」(H30/7/11~R4/6/30)
- (5) 熊本県「熊本県南豪雨義援金」(R2/7/8~R4/9/30)
- (6) 福島県「令和 4 年 3 月福島県沖地震災害義援金」(R4/3/22~R4/6/30)
- (7) 中央共募「令和 4 年 3 月福島県沖地震災害義援金」(R4/3/29~R4/6/30)
- (8) 宮城県「令和 4 年福島県沖を震源とする地震に係る災害義援金」
(R4/3/28~R4/6/30)
- (9) 宮城県「令和 4 年 7 月 15 日からの大雨に係る災害義援金」
(R4/8/8~R4/10/31)
- (10) 福井県「令和 4 年 8 月大雨福井県災害義援金」(R4/8/10~R4/10/31)
- (11) 山形県「令和 4 年 8 月大雨山形県災害義援金」(R4/8/12~R4/12/28)
- (12) 新潟県「令和 4 年 8 月大雨新潟県災害義援金」(R4/8/12~R5/3/31)
- (13) 石川県「令和 4 年 8 月大雨石川県災害義援金」(R4/8/12~R5/3/31)
- (14) 中央共募「令和 4 年 8 月 3 日からの大雨災害義援金」
(R4/8/17~R5/3/31)
- (15) 青森県「令和 4 年 8 月大雨青森県災害義援金」(R4/8/31~R4/12/28)
- (16) 静岡県「令和 4 年台風第 15 号災害静岡県義援金」(R4/9/27~R4/12/28)

(4) その他

令和 5 年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会に参画し、広報周知を行いました。

募集期間：令和 5 年 2 月 10 日～5 月 31 日 (予定)

7. 歳末たすけあい運動の展開

地域歳末たすけあい運動について「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、地域福祉の推進を目的として市区町共同募金委員会が中心となり募金運動を進めました。配分については、プライバシーの保護や個人の尊厳を尊重し、援助を必要とする人々を支援する活動や事業を中心に配分するよう市区町社会福祉協議会と調整を行いました。

また、NHK歳末たすけあい運動を展開し、県域・広域で社会的な援助を必要とする人々を支援している団体の事業費や、障害福祉サービス事業所等の備品整備費等に配分しました。

(1) 地域歳末たすけあい運動の実施

<募金目標額> 127,667,000 円

<募金実績額> 121,530,512 円

目標額に対する達成率 95.2%

<配分内訳>

地域福祉・在宅サービス事業費	75,118,820 円
在宅・施設利用者への贈呈事業費	28,526,126 円
歳末事務費	6,659,822 円
翌年度繰越金	52,935,363 円
地区福祉事業配分金充当	15,291,285 円
合 計	178,531,416 円

(前年度繰越金 57,000,904 円を繰り入れ配分)

(2) NHK歳末たすけあい運動の実施

<募金目標額> 18,000,000 円

<募金実績額> 16,481,668 円

募金取扱機関 中央共同募金会、兵庫県共同募金会、
NHK神戸放送局、JA県信連他

目標額に対する達成率 91.6%

(3) NHK歳末たすけあいの受配要望のとりまとめ及び審査、配分

<1次配分>

社会福祉関係団体	18 件	2,560,000 円
社会福祉施設連盟等	8 件	1,210,000 円
更生保護施設	1 件	200,000 円

<2次配分>

障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター、
放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、

小規模作業所	47 件	12,390,000 円
<経費（中央共募・県共募）>		781,518 円
<翌年度繰越金>		7,151,193 円
合 計		24,292,711 円

8. 各種助成金の推薦業務等

(1) いのちをつなぐ支援活動応援事業

申請 17 件 5,120,000 円、決定 12 件 3,590,000 円

(2) 公益信託前田清栄老人福祉基金の申請受付・配分調整・推薦業務

推薦 12 件 9,560,000 円

(3) 神戸ヤクルト販売株式会社寄付金の配分調整・交付業務

神戸ヤクルト販売株式会社歳末たすけあい運動協賛寄付金の配分調整
寄付金受け入れ 12 月 13 日 6 施設 1,339,181 円

(4) その他助成金、寄付金の配分調整・推薦業務

車両競技公益資金記念財団による助成事業の申請とりまとめと推薦
ボランティア活動に対する助成事業

申請 3 件 794,300 円、決定 3 件 794,300 円

保育所等の整備に対する助成事業

申請 1 件 4,000,000 円、決定 1 件 4,000,000 円

Hitachi 3Tours Championship 2021 寄付金

1 件 200,000 円

三菱電機 SOCIO-ROOTS 基金寄付金の受け入れと助成金贈呈

寄付金受け入れ 3 月 3 日 7 団体 3,437,134 円

アサヒ飲料全社運動連動寄付活動に係る助成

2 件 100,000 円及び商品寄贈

株式会社ダイヘン「2022 年度 地域の子どもの福祉のための助成事業」

神戸市内の施設・団体等 39 件 31,500,000 円

9. その他法人運営について

社会福祉法人現況報告書の提出